



岸田美明元校長先生 瑞宝小綬章受章祝賀会記念写真

ご挨拶

鴨水同窓会会長
大田 英二
(20回・昭和44年卒)

鴨水同窓会員の皆様におかれましては益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を厚く御礼申し上げます。

皆様同窓会員の皆様のお陰を持ちまして、全国各支部総会も参加人数も増えて大変活発で賑やかになり、昨年の鳥取本部総会は133人と過去最高となりましたが、東京鴨水会総会はなんと驚愕の197人！でした。そのパワーをお尋ねすると、学年幹事制が出来上がってきており、それが大きな力となっているようです。さらに関西鴨水会、東海鴨水会の皆様も参加者が増大し、血気盛んで「青雲の志を抱いて」いた頃に返っておられました。鳥取西部支部も開催さ

れましたが、和やかな再スタートでした。さらに関金支部、東部支部も30数年ぶりに総会を開き、新たな活動が始まり大きく開花満開となり、支部活動の輪が広がってまいりました。

さて、開校110周年記念式典が来年の平成30年11月と迫ってまいりましたが、記念事業のメインは「国際理解教育推進基金の設立」であります。「国際高校生フォーラム」をはじめとする国際交流教育を大きく伸ばしていく基金であります。

皆様の母校に対する多大なるご支援ご協力を改めてお願いしまして挨拶に代えさせていただきます。宜しくお願い申し上げます。

ご挨拶



学校長
河田 雅志
(27回・昭和51年卒)

全国の鴨水同窓会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、母校倉吉東高発展のためにお力添えいただき心より感謝申し上げます。

平成28年10月21日（金）午後2時7分、鳥取県中部を震源として発生した震度6弱の地震により、中部圏域内の多くの家屋同様、倉吉東高も、屋内外に大きな損傷を受けましたが、生徒、教職員は、鴨水館生と共に速やかに避難を完了し、全員無事でした。東北大震災以後の耐震工事のお陰で、校舎自体の損傷も思いのほか軽く、翌週火曜日には授業を再開することができました。地域によって被害の程度が大きく異なり、長く避難所生活を強いられた生徒もありましたが、直接命に関わる人的被害がなかったことは不幸中の幸いでした。また、復興ボランティアに取り組む本校野球部が第89回センバツ大会21世紀枠中国ブロック代表校として最終選考の9校に残るといううれしい出来事もあり、地域復興の一助

となったのではないかと心秘かに思っております。

地震後8ヶ月余りが経過した現在、学校周辺の住宅の屋根を覆うブルーシートの数も目に見えて減ってきたように思いますが、倉吉市によれば8割の住宅が未修繕だとのこと。被災された皆様、あるいは皆様のご実家、ご親戚の復旧復興の状況はいかがでしょうか。遅ればせながらお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧復興をお祈りいたします。

さて、本校は、来年、平成30年に創立110周年を迎えます。「主体的な学習者の育成」と「21世紀をリードする人材の育成」という教育目標を掲げ、「自主自律」「文武両道」をスローガンに教育活動を行っていますが、古き良き伝統を守りながら、現代社会の変化に柔軟に対応できる同窓生の皆様の「誇れる母校」であることを念頭にさらに工夫・改善に努めてまいります。今後とも倉吉東高に変わらぬご支援を賜りますようお願いしてご挨拶いたします。

鴨水同窓会総会ご案内

鴨水同窓会総会は、毎年8月14日に倉吉シティホテルで開催されています。

総会後の懇親会は、「同窓会主幹学年」によって運営されています。その年に満50歳になる学年がリレー形式で担当し、参加者の呼びかけや、アトラクションの企画、司会などを担当しています。毎年主幹学年だけで60～70人もの方々にご参加いただき、会を盛り上げていただいています。それまでは一部の方にはしかお伝えできなかった同窓会総会の開催を周知するきっかけにもなり、主幹学年終了後も継続して参加される方も増えました。

今年も8月14日（月）16時～倉吉シティホテルにて（懇親会は17時～）開催予定です。多くの同窓生の方々の参加をお待ちしております。今年の主幹学年は37回（昭和61年3月卒）のみなさまです。



お問い合わせと出席連絡は、
下記までお願いします。

倉吉東高校内同窓会事務局 榎田 健二
TEL：0858-22-5205
FAX：0858-22-5206

鴨水同窓会鳥取東部支部の設立



鳥取東部支部長
若 良二
(18回・昭和42年卒)

平成29年4月27日、鴨水同窓会鳥取東部支部設立発起人会を開催致しました。発起人会には、鳥取県東部に在住又は勤務している9名が出席し、設立総会に向けて、規約や今後の日程、及び賛同者への連絡等について協議致しました。

発起人会では、設立総会を7月8日に開催する事や定期総会の開催を毎年7月の第2土曜日とする事、さらに支部長、副支部長等の役員案についても

検討致しました。

鳥取東部支部が正式に設立すれば、中部の鴨水同窓会本部と西部支部と共に、全県的な鴨水会ネットワークが構築される事になります。

遅きに失した感はあると思いますが、地元鳥取県の県庁所在地である鳥取市を含む県東部に鴨水同窓会支部を整備し、県内外の各支部とも連携しつつ、鴨水同窓会活動の一翼を担う事ができれば幸いです。

県外支部だより



東京鴨水同窓会の活動報告

東京
支部



東京鴨水同窓会会長 福井宏一郎 (17回・昭和41年卒)

東京鴨水同窓会総会会長の福井宏一郎です。会長以下、副会長4名・幹事27名・会計幹事1名・監事2名の体制で同窓会員の親睦を図っています。活動は毎年11月の総会・懇親会を最大のイベントとし、3月には会員全員に会報を送付して総会の報告や会員の消息・住所変更などをお知らせしています。また、春秋2回のゴルフコンペを開催しています。

平成28年度の総会・懇親会は11月13日(日)正午より東海大学校友会館にて開催されました。昭和16年倉中卒の大先輩から現役大学生まで197名が参加して旧交を温め、また世代を超えた親睦を深める事ができました。

この総会・懇親会は鳥取県中部地震から数週間しか経っていない中で開催で、倉吉市長(石田耕太郎さん)、北栄町長(松本昭夫さん)、湯梨浜町長(宮脇正道さん)等から寄せられた

地震後の支援に対するお礼とメッセージの紹介がありました。また、開場に設置した地震の義援金箱には11万円が集まり、鳥取県庁からのご来賓にお渡し致しました。

懇親会では、まず来賓の河田雅志校長先生から母校の近況と地震からの迅速な立ち直り、在校生の文武両道に渡る活躍の紹介があり、その後賑やかな歓談となりました。賞品多数を用意した恒例のくじ引きで盛り上がった後、応援歌・校歌高らかに歌って閉会となりました。終了後は、隣接会場で多くの年次が2次会を開催し、更に旧交を温める事ができました。

今年は11月12日(日)に同じ東海大学校友会館での総会・懇親会を、翌13日には浜野ゴルフクラブにて鴨水会ゴルフコンペを予定しています。本家の倉吉やその他の支部からの参加も歓迎します。

関西
支部

関西鴨水会の近況

関西鴨水同窓会会長 立光 齊 (16回・昭和40年卒)



関西鴨水会は一昨年創立40周年を迎えました。これまで多くの皆様からご支援を賜りましたこと、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

同窓会の役割は会員相互の親睦を図り、強固な絆を形成するための場を提供することにあります。さらに、本会は本部をはじめ、東京や東海の各支部と連携し、これまで以上に母校を応援する会でもあります。

昨秋の鳥取県中部地震では、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。復旧にはまだまだ時間がかかるとのこと、関西居住者として被災状況はテレビや新聞が主な情報源のため気掛かりでなりません。また、諸事情により帰省できない方が

多いのも事実です。そこで、本年6月の関西鴨水会総会では、倉吉市長石田耕太郎様と倉吉東高校長河田雅志様に、「被災状況と復興について」のご講演をお願いしました。これにより、会員の懸念は少しでも払拭されるのではと期待しています。

ところで、関西鴨水会総会で毎年話題になるのが高校野球です。今夏は必ず甲子園出場を果たし、「今年こそ」の合言葉を「今年も」に変えてほしいものです。関西鴨水会は総力を挙げて応援に行く体制は整っていますので、関西の地からも吉報を待ち望んでいます。



東海鴨水会の今

東海鴨水同窓会会長 八嶋 厚 (26回・昭和50年卒)

東海
支部

東海鴨水会は平成18年11月に設立された若い県外支部です。一昨年10周年を迎えたばかりです。倉吉東高卒業生の多くは、大学進学に際して関東や関西を目指します。したがって、東海地区の大学に在籍する卒業生は少なく、そこに根付いている同窓生の数も限られています。しかしながら、そのことが逆に東海鴨水会の結束力を高めています。その原動力は、支部会員の熱意ですが、それを取りまとめて、加速、加速、ブレーキを踏ませないのが、可世木博事務局長です。鳥取、倉東への熱い思いを体中から発し続ける、その止むことなき情熱にはいつも頭が下がる思いです。ち

なみに、可世木事務局長は、東海鳥取県人会の会長も務められています。

母校愛は各自が倉東に在籍した3年間の芽生え、その後の人生で徐々に豊かなものになります。各世代の高校3年間は、それぞれ全く異なる社会環境だったと思いますが、そこを巣立ち、時間経過とともに母校愛を醸成する「今」は、大先輩であれ、若い大学生であれ、同じ時を、同じ東海地域で過ごしています。今後とも、若年層の参加拡大に努め、幅広い母校愛の姿を表現できるような支部でありたいと願っています。

母校だより

学園祭

4日間にわたって開催される倉吉東高伝統の行事であり、今年で53回を数える（第1回は昭和40年）。1～3年が5つの縦割りチームに分かれ、総合優勝を争う。現在の縦割りは、1組：青嶺、2組：紅炎、3組：銀河、4組：紫苑、5組：翠嵐となっている。高校生活一番の思い出に学園祭を挙げる生徒も多い。

7月上旬



4月～7月



チューター制度

2・3年生がチューターとなり、新入生に学校生活についての講習を行う。1年生にとっては貴重なアドバイスの場であり、2・3年生も自らの成長の場となる。

国際高校生フォーラム

国内外の高校生が倉吉に集まり、プレゼンと討論を行う。内容は「地域創成について」、「国際テロリズム問題」など現代的テーマで、総合的な思考力と表現力を育成する。今年のテーマは「高校生が考える格差社会」。

7月末～8月初



9月下旬



強歩

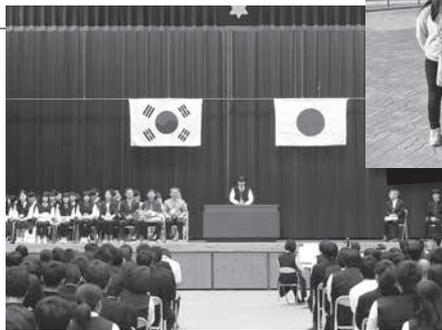
学校を発着し、東郷湖畔を歩く35kmのコースで行う。中間点の保護者による豚汁とフルーツの差し入れが嬉しい。学園祭と同じく53回目を迎える伝統行事であり、現在は1コースのみである。

韓国研修・安養高校との交流など

2年生は3泊4日の日程で韓国研修を行い、韓国の歴史や文化を学ぶ。隔年で日本と韓国でのホームステイも実施しており、相互交流を深めている。

今年は北朝鮮情勢を踏まえて、韓国研修旅行は国内研修旅行に変更。

10月中旬



1月下旬



大山スキー・スノーボード研修

1年教養クラス

2泊3日の日程で、霊峰大山でスキー・スノボ研修を行う。初心者も多いが、最終日には上級者コースに挑戦する生徒も少なくない。

首都圏研修

1年学術クラス

2泊3日の日程で、首都圏の先進的な研究機関や企業の訪問を行う。東大訪問や本校OBとの座談会なども企画され、最先端の「学び」について追究する。

1月下旬



部活動成績

■運動部

◎野球部

平成28年度

第89回選抜高等学校野球大会21世紀枠中国地区推薦校

平成29年度

春季鳥取県高等学校野球大会兼中国地区高等学校野球大会県予選会

第3位 山陰大会出場

平成28年度 全国高校総体出場

陸上競技部（男女）、ソフトボール部（男子）、アーチェリー部（女子個人）、卓球部（男子団体）、テニス部（女子個人）

平成28年度 その他の全国大会出場

陸上競技部（男女）、卓球部（男子団体）、ラグビーフットボール部（7人制）

平成29年度 中国選手権大会出場

◎テニス部（男子団体、ダブルス2組、シングルス2名）

◎テニス部（女子団体、ダブルス2組、シングルス1名）

◎ラグビーフットボール部

◎卓球部（男子団体、ダブルス2組、シングルス2名）

◎卓球部（女子団体、ダブルス1組、シングルス1名）

◎剣道部（女子団体、女子個人1名）

◎アーチェリー部（女子団体、男子個人1名）

◎陸上競技部（男子14名、女子12名）

祝 平成29年度 全国高校総体出場決定

◎卓球部（男子シングルス）

◎卓球部（女子団体、ダブルス）

◎ソフトボール部（男子）

◎陸上競技部（男子：やり投げ、女子：走り高跳び、走り幅跳び、100m障害）

■文化部

平成28年度 全国大会出場

◎囲碁部（男子）、オーケストラ部、新聞部

平成29年度 全国大会出場決定

◎囲碁部（男子個人）、オーケストラ部、新聞部



卒業生の進路（合格者のべ人数）

	国公立・準大学			私立大			短大(国公私立)			専修・各種学校			就職
	現役	浪人	合計	現役	浪人	合計	現役	浪人	合計	現役	浪人	合計	現役
平成27年度	131	42	173	97	85	182	4	0	4	11	0	11	0
平成28年度	140	42	182	110	101	211	1	1	2	4	0	4	0
平成29年度	119	24	143	79	107	186	7	1	8	5	0	5	1

主な合格大学等

- 【国立】 北海道大、東北大、筑波大、千葉大、東京大、東京学芸大、金沢大、静岡大、信州大、名古屋大、京都大、大阪大、大阪教育大、神戸大、奈良女子大、和歌山大、鳥取大、島根大、岡山大、広島大、山口大、香川大、徳島大、愛媛大、高知大、九州大、九州工業大、大分大、長崎大、熊本大、宮崎大、鹿児島大、その他
- 【公立】 福島県立医大、高崎経済大、静岡県立大、都留文科大、滋賀県立大、大阪府立大、大阪市立大、神戸市外大、兵庫県立大、島根県立大、岡山県立大、県立広島大、尾道市立大、福山市立大、下関市立大、鳥取環境大、その他
- 【私立】 早稲田大、慶応義塾大、明治大、立教大、法政大、青山学院大、中央大、東京理科大、同志社大、立命館大、関西学院大、関西大、龍谷大、近畿大、駒澤大、その他

創立記念日OB講演会

平成29年4月15日(土)

「多様性の中の『格差』を考える ～インドで女性として生きるということ」

追手門学院大学 講師 小松 久恵 氏 (43回・平成4年卒)

インドは人口約13億1,000万人で、民族や宗教、言語が多数存在している多様性に富んだ国である。人々は文化の違い、習慣の違いの中で交じり合い共存しながら生活をしている。そのような社会の中での「格差」を考えていく。

インドでは、女性を軽視する風習がある。日本で言う男尊女卑だ。識字率、就学率、就職率、初婚年齢に差が顕著にあらわれている。ヒンドゥー教では先祖の名を絶やさないと男性の使命であり、男子優先の社会であるべきだという思想がある。そのことから、就学、就職も男子が優先され、経済も男性が担っている。重大な社会問題の一つとして、女兒殺しがあげられる。女兒を経済的な「負担」とみなし、胎児が女の子だとわかると墮胎させるのである。女子に対する差別、格差が横行していることで、インドの人口性別比は男性の割合が非常に高くなっているのが現状である。

また、都市部と農村部の比較で見ると、女性の中でも「格差」がある。農村部は都市部に比べて特に出生率が高くなっている。これは、現在法律で禁止されているダウリー（花婿が花嫁家族に対して超多額な金品を要求すること）が関係している。男児がいる家庭では婚姻に際して相手側に金品を要求できるものとされ、また「男児を産めて一人前」といわれているからである。男児を産むまで出産を繰り返させる家庭が農村部に偏っているため、出生率に差が生じるのである。また識字率や就学率にも農村部と都市部では大きな格差がみられる。

国の風習や宗教によって迫害や差別を受けている人がいること、それを甘受している社会があることを知ってほしい。そのうえで「日本に生まれてきてよかった」と人ごとですませたり、異文化を優劣で決め付けたりするのではなく、広い視野を持ってほしい。そしてインドや異文化を理解、尊重する姿勢をもってほしい。そうすることで、自分の国や文化について知り、どうしてそうなっているのかという考えを持って生活することができるだろう。君たちの未来には大きな可能性がある。この先の活躍に期待している。



創立110周年に向けて



倉吉東高校は平成30年に創立110周年を迎えます。
平成30年にはそれを記念して以下のようなことを計画しております。
現在、その事業に向けて学校、鴨水同窓会が協力して準備を進めております。

110周年記念式典

- 平成30年11月9日(金)
於：倉吉東高校 第1体育館(予定)
- ・記念講演
 - ・記念演奏
 - ・記念祝賀会



記念事業

- ・国際理解教育推進基金の設立
2002年以来続いている国際高校生フォーラムをはじめとした倉吉東高校の国際理解教育事業の運営をサポートしていくための基金です。



記念誌の編集・発行

100周年～110周年の10年間のあゆみ

※現在、寄付を募っております。8ページの趣意書をお読みいただき、御協力をお願いします。

鴨水同窓会役員名簿 (平成29年度6月現在)

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会長	大田 英二	顧問	名越 和範	理事	中島 守	理事	小木 寛治
副会長	樋口寿一郎	顧問	岸田 美明	理事	水口 浩志	理事	三木 順詞
副会長	近藤 健治	顧問	牧 尚志	理事	吉田 武章	理事	清水 正人
副会長	手石 幸洋	顧問(学校長)	河田 雅志	理事	大丸 満壽	理事	西原 定代
常任相談役	伊藤 文利	監査	山崎 英俊	理事	松本 昭夫	理事	西田 寛司
常任相談役	杉本美智子	監査	大田 佳典	理事	宮脇 正道	理事	更田 有弘
顧問	早川 芳忠	常任理事	藤井 省三	理事	山根 誠	校内理事	山田 智子
顧問	長谷川 稔	常任理事	倉都 祥行	理事	青亀 恵一	校内理事	徳住 彰啓
顧問	石田耕太郎	常任理事	前田 六仁	理事	樋口 俊雄	校内理事	桧 佳憲
顧問	椿 章夫	常任理事	山崎 一彰	理事	栗原 隆政	校内理事	石井 栄行
顧問	田熊 増弘	常任理事	松田 隆	理事	大前 拓也	校内理事	片山 裕恵
顧問	國岡 靖夫	常任理事	寺坂 和利	理事	原 利一郎	校内理事(事務局)	中下 拓耶
顧問	西尾 博仁	常任理事	橋本 徳香	理事	田栗 正之	校内理事(事務局)	井谷 秋人
顧問	田中 昭文	常任理事	大津 理恵	理事	足羽 弘志	校内理事(会計)	法本 明久
顧問	岡本 康	理事	藤原 節	理事	武信 順子	校内理事(事務局)	楳田 健二

鴨水同窓会支部役員名簿

支部名	支部長名	支部名	支部長名	支部名	支部長名	支部名	支部長名
東京	福井宏一郎	羽合	竹歳 哲也	赤碕	大黒 章司	灘手	馬壁聰之介
関西	立光 斉	東郷	立木 一光	上灘	向井 純悟	社	小谷陽一郎
東海	八嶋 厚	三朝	野見 徹也	成徳	森本 英嗣	高城	福井 康夫
広島	谷口 雅彦	関金	加藤 栄隆	明倫	田中 淑郎	北谷	松島 孝志
県東部	若 良二	北条	有福 隆春	西郷	牧山 俊彦	小鴨	徳永 正一
県西部	浜本 真	大柴	福山 巖	河北	涌島 英智	上小鴨	蓑原 強
泊	手石 幸洋	東伯	松田 俊慈	上北条	岩間 隆二		

鳥取県立倉吉東高等学校 「創立110周年記念事業」募金趣意書

謹啓 同窓生各位にはいよいよご清栄にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、鳥取県中部地震で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

平素より、鴨水同窓会並びに倉吉東高発展のため、物心両面にわたり格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。母校は、明治42年、県立倉吉中学校として創立以来、山陰教育界の名門として、幾多の英才を輩出し、地元地域はもとより、国内外各界の発展に大いに寄与してまいりましたが、お陰をもちまして、平成30年に創立110周年を迎えることとなりました。

母校は、中長期ビジョン「倉吉東高のかたち」に沿って、『主体的学習者の育成』と『21世紀をリードする人材の育成』を教育目標に掲げ、これからの時代を支えるリーダーの育成に力を注いでおります。特にグローバル化の進展に伴い、今後ますます重視される国際理解教育と英語教育に関しては、1997年から継続している韓国安養高校との交流や16回を数える「国際高校生フォーラム」など特色ある取り組みを実施してまいりました。

また、「文武両道」をスローガンに、県下はもとより全国的に注目される進学実績を維持しながら、部活動加入率も95%を超え、陸上、ソフトボール、卓球、テニス、管弦楽、囲碁をはじめとする数多くの運動部・文化部が全国大会への出場を果たしておりますし、野球部も平成29年度第89回選抜大会の21世紀枠中国ブロック代表に選ばれました。

一方、平成24年度末に閉科した専攻科に代わり、各位のご支援を受けて本同窓会が設立したNPO法人「倉吉鴨水館」は、中部地区のみならず県内各地より館生を得、当初目的のとおり、堅実な進学実績を挙げると共に、現役生徒のチャレンジ精神を鼓舞しております。

このように母校が発展を遂げる中で迎える創立110周年にあたり、本同窓会は、記念式典及び祝賀会の挙行、記念講演の実施、記念誌発刊といった従来の周年事業に加え、母校の更なる発展のため、特に母校「国際理解教育」充実のための『国際理解教育推進基金』設立と本同窓会設立のNPO法人『倉吉鴨水館』の教育支援を目的とした募金活動を行う旨の基本方針を平成28年度の総会で決定いたしました。本同窓会が設立するこの『国際理解教育推進基金』によって、母校主催の「国際高校生フォーラム」が一層国際色豊かなものになること、また、感性豊かな高校時代に同窓会支援により多様な国際経験を積んだ後輩たちが、将来国内外のリーダーとして活躍する姿を想像いたしますと誠に心が躍ります。

貴台におかれましては、鳥取県中部地震の傷痕も癒えぬ中、また、出費ご多端のりから恐縮に存じますが、何卒趣旨をご理解いただき、下記による募金活動完遂に格別のご支援を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

謹白

平成29年6月

創立110周年記念事業実行委員会

委員長(鴨水同窓会長)	大田 英二
副委員長(鴨水同窓会副会長)	近藤 健治
副委員長(鴨水同窓会副会長)	手石 幸洋
副委員長(鴨水同窓会顧問)	名越 和範
副委員長(鴨水同窓会常任理事)	山崎 一彰
副委員長(鴨水同窓会常任理事)	寺坂 和利
副委員長(鴨水同窓会常任理事)	大津 理恵
東京鴨水会長	福井宏一郎
関西鴨水会長	立光 斉
東海鴨水会長	八嶋 厚

記

1 創立110周年募金対象記念事業

- (1) 『国際理解教育推進基金』…………… < 3,000 万円>
 - ① 「国際高校生フォーラム」支援
 - ② 「国際交流事業」支援
 - ③ 短期・長期海外研修補助
 - ④ その他国際理解教育支援
- (2) 「倉吉鴨水館」教育支援…………… < 350 万円>
- (3) 記念行事(式典・祝賀会・記念講演)…………… < 440 万円>
- (4) 記念誌発刊…………… < 104 万円>
- (5) その他諸経費…………… < 606 万円>

2 募金目標額…………… < 4,500 万円>

以上

※この募金は、事業内容が特定寄附金に該当しないため、所得控除の対象とはなりません。

今回は創立100周年時作成の名簿情報を元に発送いたしました。氏名等に変更があった方々もいらっしゃるかもしれませんが、ご容赦・ご理解のほど何卒よろしく願い申し上げます。最新の情報は同封のハガキにてご一報下さい。